ごあいさつ

　皆様には、日頃より、愛知県信用農業協同組合連合会（愛称「ＪＡ愛知信連」）に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申しあげます。

　本年も皆様に当会の経営方針、業務内容、令和３年度の業績等をご紹介するために、本冊子を作成いたしました。ご一読いただき、当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

　当会は、昭和23年の設立以来、農業専門金融機関・地域金融機関として、県下のＪＡが食の安全と安心を地域の皆様にお届けすることを金融面からサポートするとともに、利用者の皆様の生活向上に資する幅広い金融サービスを提供することにより、地域農業の発展と豊かな地域社会の創造に取り組んでまいりました。

　さて日本経済は、コロナ禍における個人消費停滞等に伴う景気回復の伸び悩みに加え、物価高騰やウクライナ情勢緊迫化など、世界経済の不確実性の高まりを受け、先行き不透明な経済環境となっています。

　また、金融業界におきましては、超低金利環境の長期化など厳しい収益環境が続き、各金融機関は、生き残りをかけて経営統合・再編等を進め、デジタルバンキング化を加速させる等、経営基盤の強化を図るとともに、新たな付加価値・収益機会の創出に向けて、異業種業態との連携強化や地域商社化を展開し、持続可能なビジネスモデルの再構築への動きを見せています。

　更に、ＪＡ系統組織におきましては、令和３年６月に閣議決定された規制改革実施計画においてＪＡが組合員との対話を通じた「自己改革実践サイクル」を構築し、自己改革を着実に実践することが求められ、これまで以上に農業・関連産業向け投融資の戦略的な取組み等、系統金融機関として金融仲介機能を十全に発揮することの重要性が一層高まっています。

　当会は、こうした情勢認識を踏まえ、中期計画（令和２年度～令和４年度）に基づき、県下ＪＡの自己改革の取組みを十全にサポートするとともに、県下ＪＡ系統信用事業（通称「ＪＡバンクあいち」）における農業専門･地域金融機関としての金融サービス提供と収益モデルの再構築に向け、役職員が一丸となり「ＪＡバンクあいち」の発展に努めてまいります。

　皆様におかれましては、本冊子等を通じて当会に対するご理解を深めていただきますとともに、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和４年７月

経営管理委員会会長　石黒　秀一

代表理事理事長　太田　亮介